

まもなく「八丈フルーツレモン」の出荷が始まります



平成 22 年度より当事業所が八丈島での栽培技術開発に取り組んできた「菊池レモン」。

本年度からは、名称やロゴマークも新たに、まもなく本格出荷の時期を向かえます。今回はレモンの産地化に取り組む地域の活動を紹介します。

新名称が「八丈フルーツレモン」に決定

JA レモン部会（会員数 28 名）では、島内外の皆様に「菊池レモン」をより一層親しんで頂けるように、新名称を公募しました。その後、JA、町、支庁、商工会、観光協会等の代表者を交えた選考会を開催し、総応募数 236 の中から、部会案も踏まえて検討した結果、新名称を「八丈フルーツレモン」とすることに決定しました。

ロゴマークやポスター、出荷箱の作成

また、JA レモン部会では、「八丈フルーツレモン」のロゴマークを地元の高校生（都立八丈高等学

校 美術部）と協力して作成しました。島からレモンと旗が飛び出し、島の特産品であることをアピールした図案はその後、専門家によるブラッシュアップを経て、図 1 のようなすばらしいロゴマークが完成しました。

さらに、JA レモン部会では八丈フルーツレモンの販売促進のため、ポスター（図 2）、贈答用の出荷箱（2 キロ入り、果実 6～8 個、¥2600+送料）も作成しました。今後、ポスターは JA と部会員で地元の商店や町営施設（温泉等）に張り出される予定です。

当事業所でも、現在、八丈フルーツレモンを PR するため、八丈支庁展示ホールでの特設展示や、八丈島空港ロビーでのレモンの鉢植え展示も行っています。

今年度の「八丈フルーツレモン」収穫量見込みは 4 トンで、12 月下旬から 3 月頃にかけて出荷予定です。島内販売に加えて、島外へも JA 東京島しょ（電話 04996-2-1223）を通じて発送できます。

まろやかな酸味で皮までおいしく食べられるフルーツレモンをぜひご賞味ください。



図 1. 「八丈フルーツレモン」のロゴマーク



図 2. 「八丈フルーツレモン」のポスター